

発明は、俺の命だ。俺の一つの病気だ。

生涯を発明にささげ数多くの発明を残した斎藤外市。
とりわけ日本初の電動力による絹織物生産を実現した斎外式力織機の発明は、
後発地だった庄内を輸出向け羽二重の一大産地へと急成長させました。
また、力織機の製造や修理のために鉄工業が発展、
電力会社、ガス会社も作られ地域の近代化に大きく貢献しました。
今回のフォーラムでは、庄内が生んだ発明王 斎藤外市の生涯に触れ、
自らの創造と挑戦で企業経営の活路を切り拓くヒントを探ります。



た なか ただし

◇講師 田中 尹 氏

前・松岡機業株式会社社長
前・鶴岡織物工業協同組合理事長

1930(昭和5)年、鶴岡市生まれ。東京農工大学繊維学部卒業。
1955(昭和30)年、山形県蚕種協同組合に入社(翌年、松岡蚕種株式会社に社名変更)。
1972(昭和47)年、同社社長に就任。以来、会長、東洋企業社長、会長、世界銀行コンサルタント、松岡機業株式会社社長を歴任。
2004(平成16)年～2011(平成23)年、鶴岡織物工業協同組合理事長。
現在、松ヶ岡開墾場顧問、致道博物館顧問。

◇ 斎藤外市の経歴

- 1865(慶応元年) 長沼村上新田(現・鶴岡市)の豪農の長男として誕生
- 1879(明治12)年 小学校をやめて農業に従事、その後独学で研究に没頭
- 1898(明治31)年 斎外式力織機を発明
- 1901(明治34)年 日本で最初に電動力織機で羽二重を織る
- 1906(明治39)年 羽前輸出織物信用組合を設立
- 1907(明治40)年 鶴岡織物株式会社を設立 縞子製織機を発明
- 1909(明治42)年 古口村で石油採掘
斎外式力織機が国内の力織機の五割を占める
- 1910(明治43)年 飛行機を発明し特許出願
- 1911(明治44)年 鶴岡瓦斯会社(現・鶴岡ガス株式会社)を設立
斎外式力織機の総生産台数が1万台に達する
- 1917(大正6)年 舟形村で開墾事業(失敗)
- 1921(大正10)年 鶴岡町会議員に当選
- 1926(大正15)年 結核がもとで鶴岡市で死去

参加申込書

申込日 / 2016年 月 日

会社・事業所	会社 事業所名	所在地 〒
	申込に関する 担当者	所属部署 氏名
	E-mailアドレス	TEL - - FAX -

講座・セミナー等のお知らせ
メールの配信を希望しますか？ (希望する・希望しない・登録済)

▼ 参加ご希望のものを○で囲んでください。懇親会参加費4,000円は当日受付で申し受けます。

参加者		氏名	フリガナ	性別 男 女	年齢 歳	所属部署・役職等
1	○ 講演 ○ 懇親会					
2	○ 講演 ○ 懇親会					
3	○ 講演 ○ 懇親会					

【個人情報の取扱について】 申込書にご記入いただいた情報は、お申し込みされた講座を受講していただくために必要な事務連絡等に使用するとともに、参加者名簿(記録用・講師用)作成及び今後の庄内地域産業振興センターからのセミナー情報の提供に使用させていただきます。また、「法令等で要求された場合」を除き、第三者に開示・提供いたしません。

●送信先
(公財)庄内地域産業振興センター
山形県鶴岡市末広町3番1号
TEL.0235-23-2200(代)

申込書枠内にもれなくご記入のうえ、
FAXでお申し込みください。

FAX 0235-23-3615

